

「にっこり安心プランー第7次宇都宮市高齢者保健福祉計画・第6期宇都宮市介護保険事業計画ー」【概要版】

計画の趣旨

- 計画策定の趣旨 高齢社会が進行するなか、本市の高齢者保健福祉施策、介護保険事業の更なる充実を図り、高齢者の多様なライフスタイルを支える地域づくりを目指すため、新たな計画を策定するもの
- 計画の位置付け 老人福祉法に基づく市町村老人福祉計画 ・介護保険法に基づく市町村介護保険事業計画 ・「第5次宇都宮市総合計画基本計画改定基本計画(後期基本計画)」の個別計画 など
- 計画期間 平成27～29年度の3年間

① これまでの取組

基本目標1 みんながつながり、支えあう地域社会の実現

■ 施策の方向性と施策

- ◇地域保健・福祉体制の充実
 - ・地域の総合的なネットワーク機能の充実
 - ・ボランティア活動・市民活動の推進
- ◇ユニバーサルデザインの推進
 - ・意識のバリアフリーの推進
 - ・公共施設などのバリアフリー化の推進
- ◇安全で安心な暮らしの確保
 - ・地域の見守りと支援体制の充実
 - ・安全で安心な地域生活の確保
- ◇高齢者に優しい居住環境の整備
 - ・高齢者に多様な住まいの支援
 - ・居住環境に関する相談機能の充実

■ 課題のまとめ

- ・地域ネットワークの充実に向けた地域包括支援センターのより一層の周知
- ・高齢者等の社会活動参加促進のためのボランティア団体等への適切な支援
- ・イベントや身近な交流活動を通じた福祉のこころをはぐくむ人づくり
- ・誰もが暮らしやすい生活環境の整備
- ・高齢者への支援体制の充実
- ・高齢者の身近な場所での啓発・教育活動
- ・高齢者の状況に応じた多様な住まいについての周知
- ・住宅改修への支援についての周知、適切なサービス利用に向けた相談・助言

基本目標2 健康で生きがいのある豊かな生活の実現

- ◇健康づくりによる健康寿命の延伸
 - ・健康づくり事業の推進
- ◇介護予防の推進
 - ・介護予防の効果的な展開
 - ・きめ細かな介護予防の展開
- ◇生きがいづくりの促進
 - ・交流の場、交流機会の提供
 - ・学習・スポーツ・芸術の場や機会の提供
- ◇社会参画の促進
 - ・社会参加活動の環境整備
 - ・高齢者の就業支援
 - ・高齢者の外出支援の充実

■ 課題のまとめ

- ・地域主体の健康づくり
- ・地域で自主的に活動するグループの育成・支援
- ・老人クラブの活動内容の一層の充実、活動の中核となる人材の育成支援
- ・老人福祉センター等における高齢者のニーズを捉えた講座の実施
- ・シニア世代のニーズを捉えた講座の開催や相談しやすい環境づくり
- ・高齢者のニーズに対応するためのシルバー人材センターに対する支援
- ・高齢者の外出促進のための利便性の向上

基本目標3 いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現

- ◇適切な福祉サービスの提供
 - ・高齢者のニーズに応じた福祉サービスの提供
 - ・介護者への支援
- ◇認知症高齢者等対策の充実
 - ・認知症の正しい理解に向けた周知啓発の推進
 - ・早期診断・早期発見・早期対応のための仕組み構築 など
- ◇高齢者の権利保護及び制度の利用支援
 - ・権利保護事業の推進と成年後見制度などの利用支援

■ 課題のまとめ

- ・高齢者のニーズを踏まえたサービス提供、事業の周知
- ・認知症サポーター養成講座の実施
- ・医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実
- ・虐待防止の意識を高める啓発活動、成年後見制度等の制度周知、利用支援

基本目標4 介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現

- ◇介護保険事業の充実
 - ・介護サービスの提供
- ◇介護サービスの質の向上
 - ・サービスの質の確保・向上
 - ・介護人材の育成・支援
 - ・介護保険制度の安定的な運営に向けた取組の推進

■ 課題のまとめ

- ・適切な介護サービス提供のための介護保険施設等の計画的な整備
- ・サービスの提供に必要な人材の確保、質の向上などの人材育成支援
- ・介護保険制度の周知

② 本市を取り巻く状況

【本市の状況】

項目	H23年3月	H26年3月	H29年10月
総人口	市 506,195人	518,398人	518,460人
高齢者人口	市 102,878人	112,731人	128,835人
高齢化率	市 20.32%	21.75%	24.85%
	県 21.92%	24.47%	
	国 22.79%	25.18%	
要介護(支援)認定者数	市 15,024人	17,503人	
	市 14.17%	15.53%	
	県 15.46%	16.02%	
	国 17.40%	18.23%	
65歳以上の単身世帯の割合	市 6.02%	6.77%	10.62%
※H17、22年は国勢調査による	県 5.87%	7.09%	
	国 7.88%	9.22%	

項目	H22年	
	男	女
健康寿命	70.73歳	74.86歳
※国民生活基礎調査データによる	70.42歳	73.62歳
平均寿命	79.06歳	85.66歳
※平成22年度都道府県別生命表による	79.59歳	86.35歳

項目	H21年		H25年	
	30件	73件	30件	73件
交通事故発生件数に占める高齢者の構成割合	市 23.2%	25.5%		
特殊詐欺の認知件数・被害額	市 約3,100万円	約4億8,600万円		

※ 特殊詐欺の被害が増加(H21⇒25:認知件数は約2.5倍、被害額は約16倍)
 ※ 特殊詐欺の被害者のうち、約7割が65歳以上

- 【国の動向】
- ◇ 地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律
 - 効率的かつ質の高い医療提供体制の構築
 - 地域支援事業の充実
 - ・認知症高齢者支援施策の推進
 - ・地域における包括的かつ持続的な在宅医療・介護の提供
 - ・地域の支え合いによる生活支援の推進
 - ◇ 健康日本21(第二次)
 - 高齢者の健康
 - ・基本的な考え方:健康寿命の延伸・健康格差の縮小
 - ・目標項目
 - ⇒ 介護保険サービス利用者の増加の抑制(H24:452万人 ⇒ H37:657万人)
 - ⇒ 高齢者の社会参加の促進
 - ※ 就業または何らかの地域活動をしている高齢者の割合の増加(H20:男性64.0%、女性55.1% ⇒ H34:80%) など
 - ◇ 認知症施策推進5か年計画(オレンジプラン)(平成25～29年度)
 - 標準的な認知症ケアパスの作成・普及
 - 早期診断・早期対応
 - 地域での生活を支える医療・介護サービスの構築
 - 地域での日常生活・家族の支援の強化
 - ※ 認知症高齢者の将来推計
H22:280万人・9.5% ⇒ H37:470万人・12.8%

③ アンケート調査結果

- 地域包括支援センターの認知度 【高齢者】 【若年者】
 - ・知っており利用したことがある 10.1% (前回13.8%) 10.6%
 - ・知っているが利用したことはない 55.7% (前回53.4%) 34.7%
 - ・知らない 34.2% (前回32.8%) 54.7%
- 健康のために気をつけていること【高齢者】
 - ・食事や栄養に気をつけている 12.7%
 - ・適度な運動を心がけている 12.1%
 - ・十分な睡眠や休養をとっている 11.7%
- 今後の生きがいについて【高齢者】
 - ・社会参画・社会貢献活動 57.8%
 - (健康づくりや趣味活動、ボランティア活動、自治会活動、就業など)
- グループ活動や社会活動に取り組むときに希望する支援【高齢者】
 - ・「シニア活動に関する身近な相談窓口の充実」 21.6%
 - ・「交流会・サロン等の地域交流の促進」 19.9%
 - ・「団体情報や助成金などのシニア活動に関する情報提供」 16.0%
- 認知症の本人に対する支援【高齢者】
 - ・「話し相手」 29.4%
 - ・「認知症カフェのような本人や家族、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所」 16.9%
 - ・「認知症の相談可能な医療窓口の設置」 16.4%
- 認知症に関して重点を置くべき取組【高齢者】
 - ・「医療・介護・福祉が連携したケア体制の充実」 29.8%
 - ・「認知症グループホーム等の施設整備」 18.4%
 - ・「予防教室や講演会など市民に対する啓発」 8.4%
 - ・「成年後見制度や虐待防止などの制度の充実」 2.6%
- 介護が必要になったときに希望する場所【高齢者】
 - ・「自宅」 51.4%
 - ・「特別養護老人ホーム」 11.2%
 - ・「サービス付き高齢者向け住宅」 7.9%
- 今後重点を置くべきこと【高齢者】
 - ・「在宅での看取りが可能となるような地域医療の充実」 13.1%
 - ・「地域包括支援センターなど身近な相談窓口の充実」 12.2%
 - ・「介護を支える人材の育成や支援の充実」 10.3%
 - ・「24時間対応などの在宅介護サービスの充実」 10.3%
- 【若年者】
 - ・「介護を支える人材の育成や支援の充実」 10.7%
 - ・「認知症やその家族を支援するサービスの充実」 10.0%
 - ・「24時間対応などの在宅介護サービスの充実」 9.1%

④課題の総括

《増加する高齢者への地域での支援が必要》

高齢者やその家族が地域コミュニティの中で孤立することなく、地域の関係機関・団体や近隣住民の支えのもと、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、地域全体で高齢者を支える社会の実現に向けて取り組む必要がある。

- ・ 地域の中で支援を必要とする高齢者の増加が見込まれている。
 - 高齢者を地域で支える保健・福祉体制の充実が必要
 - バリアフリーの推進など高齢者にやさしいまちづくりが必要
- ・ 高齢者が関わる事件や事故が増加している。
 - 高齢者にとって安全で安心な暮らしを確保することが必要

《健康寿命の延伸が必要》

高齢者がいつまでも健康で、趣味や友人との交流などにより生きがいを感じることができ、また、積極的に社会参加できる豊かな社会の実現に向けて取り組む必要がある。

- ・ 高齢者の増加に伴い、介護を必要とする高齢者の増加が見込まれている。
 - 介護予防などによる健康寿命の延伸に向けた取組が必要
- ・ 社会参加・社会貢献活動に対する意欲が高まり、身近な地域で仲間と活動する高齢者が増加している。
 - 高齢者の社会参画や社会貢献、生きがいづくりを更に促進するための取組が必要

《増加する認知症高齢者への支援が必要》

認知症高齢者等対策の推進、高齢者の権利擁護など、高齢者が必要な時に必要なサービスや支援を適切に利用することにより、高齢者一人ひとりが自分らしい生きかたを続けることができる社会の実現に向けて取り組む必要がある。

- ・ 高齢者の増加に伴い、介護保険サービスの利用まで至らない高齢者の増加が見込まれている。
 - 介護保険サービスの利用まで至らない高齢者を支えるための適切な福祉サービスの提供が必要
- ・ 認知症の高齢者の増加が見込まれている。
 - 医療と介護が連携した認知症高齢者等対策の充実や権利擁護のための取組が必要

《地域包括ケアシステムの構築を見据えた取組が必要》

高齢者やその家族が安心して介護サービスを利用できるよう、介護サービスの充実や質の向上を図るとともに、介護保険制度改正に適切に対応することにより、介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現に向けて取り組む必要がある。

- ・ 高齢者の増加に伴い、介護を必要とする高齢者の増加が見込まれている。
 - 介護を必要とする高齢者等に必要なサービスを提供できるよう、介護保険事業の充実や介護サービスの質の向上が必要
- ・ 2025年を目途に地域包括ケアシステムの構築が求められている。
 - (自宅など住み慣れた場所ですべて生活できることを望む声が多くなっている。)
 - 住み慣れた場所ですべて生活できるよう、在宅医療と介護サービスの更なる連携が必要

計画の基本理念、基本目標、施策・事業

【基本理念】

健康で生きがいを持ち、安心して自立した生活を送ることができる、笑顔あふれる長寿社会の実現

■ 基本目標1 「みんながつながり、支えあう地域社会の実現」

- 【成果指標】 地域の担い手として活躍する高齢者の割合 9.1% ⇒ 10.6%
地域包括支援センターの認知度(65歳以上高齢者)65.8%(H26見込) ⇒ 80.0%(H29目標)
- 【施策の方向性】 ① 地域で支える保健・福祉体制の充実
② 高齢者にやさしいまちづくりの推進
③ 安全で安心な暮らしの確保
- 【主要事業】
 - ・ 【拡充】 地域会議などを活用した地域ネットワークの充実
 - ・ 【拡充】 ボランティア養成講座等の充実
 - ・ 【拡充】 消費生活情報の提供の充実
 - ・ ひとり暮らし高齢者等安心ネットワークシステムの推進
 - ・ 災害時要援護者支援事業の推進

■ 基本目標2 「健康で生きがいのある豊かな生活の実現」

- 【成果指標】 高齢者等地域活動支援ポイント事業参加者数 5,000人(H26見込) ⇒ 10,000人(H29目標)
地域で介護予防に取り組む自主活動グループ数 130グループ(H26見込) ⇒ 190グループ(H29目標)
- 【施策の方向性】 ① 介護予防による健康寿命の延伸
② 生きがいづくりの促進
③ 社会参画と社会貢献の促進
- 【主要事業】
 - ・ 【拡充】 健康づくり実践活動の促進
 - ・ 【拡充】 地域での介護予防活動への支援
 - ・ 【拡充】 高齢者等地域活動支援ポイント事業の本格実施
 - ・ 老人クラブ活動の育成・支援
 - ・ みやシニア活動センター事業の推進

■ 基本目標3 「いつまでも自分らしさを持ち、自立した生活の実現」

- 【成果指標】 認知症に対する地域の理解促進(認知症の人に対する偏見がないと思う人の割合) 24.6%(H26見込) ⇒ 50.0%(H29目標)
認知症サポーター数 19,000人(H26見込) ⇒ 25,000人(H29目標)
- 【施策の方向性】 ① 福祉サービスの提供
② 認知症高齢者等対策の充実
③ 権利擁護制度の利用支援
- 【主要事業】
 - ・ 【拡充】 認知症初期集中支援チームの設置に向けた取組
 - ・ 【拡充】 認知症サポーター等の養成・支援の推進
 - ・ 家族介護教室の開催
 - ・ 認知症支援医療・介護従事者合同研修会の開催・支援
 - ・ 認知症サロン(オレンジサロン)の推進
 - ・ 権利擁護事業の推進

■ 基本目標4 「介護サービスの利用を通じた笑顔あふれる社会の実現」

- 【成果指標】 ケアプランに対する満足度 89.7%(H26見込) ⇒ 93.7%(H29目標)
医療・介護に関する研修会等の受講者数 770人(H26見込) ⇒ 1,000人(H29目標)
- 【施策の方向性】 ① 介護保険事業の充実
② 介護サービスの質の向上
③ 在宅医療・介護連携の推進
- 【主要事業】
 - ・ 【拡充】 地域支援事業の充実(新しい総合事業の実施)
 - ・ 【拡充】 介護従事者等の資質の向上
 - ・ 【新規】 地域療養支援体制の整備
 - ・ ケアプランに対する助言・指導の実施
 - ・ 介護保険事業の情報提供